

会議の名称	令和7年度第1回あま市スポーツ推進連絡会議
開催日時	令和7年8月6日（水）午後7時から8時15分
開催場所	あま市役所 2階 E会議室
内 容	<p>1 開会 2 委嘱状交付 3 教育長あいさつ 4 自己紹介 5 会長・副会長の選出 6 議題 （1）令和6年度第2回あま市スポーツ推進連絡会議録について （2）令和6年度第2回あま市スポーツ推進連絡会議における意見と検討状況について （3）令和6年度スポーツ推進計画にかかる関係課の取組項目の結果・評価について （4）令和7年度スポーツ推進計画にかかる関係課の取組項目について （5）意見交換 【テーマ】 スポーツに気軽に取り組む機会の提供について 7 その他</p>
資 料	<ul style="list-style-type: none"> ・ 次第、名簿、座席表 ・ 【資料1】 令和6年度 第2回あま市スポーツ推進連絡会議録 ・ 【資料2】 令和6年度 第2回あま市スポーツ推進連絡会議における意見と検討状況について ・ 【資料3】 令和6年度スポーツ推進計画にかかる関係課の取組項目の結果・評価について ・ 【資料4】 令和7年度スポーツ推進計画にかかる関係課の取組項目について ・ 【資料5】 スポーツに気軽に取り組む機会の提供について
出席委員	石塚吾歩路委員、川寄寛繼委員、木全克己委員、猪飼哲也委員、竹田竜一郎委員、立松武子委員、石原晶子委員、中村博美委員（委員名簿順）
欠席委員	石塚建伸委員、木下浩委員
事務局	<p>（教育委員会） 伊藤克仁教育長 鎌倉崇志教育部長（欠席） （教育部スポーツ課） 林孝之課長、栗原一成主幹、鹿島みどり課長補佐、重本和美課長補佐、水野晃寛課長補佐、田口健次郎主幹（欠席）</p>

会議の経過

1 開会

2 委嘱状交付

3 教育長あいさつ

4 自己紹介

5 会長・副会長の選出

会長に石塚 吾歩路委員、副会長に石塚 建伸委員が選出

6 議題

- (1) 【資料1】令和6年度第2回あま市スポーツ推進連絡会議録について事務局から説明

【質疑応答】

なし

- (2) 【資料2】令和6年度第2回あま市スポーツ推進連絡会議における意見と検討状況について事務局から説明

【質疑応答】

委員：子どもたちは、表彰、雑誌に掲載されること等で大変喜ぶ。ケーブルテレビで、市長との交歓会を目にしますが、報奨金等がありますか。

事務局：全国大会に出場した場合、市長に表敬訪問がある。その際、年間1回、報奨金を出している。

- (3) 【資料3】令和6年度スポーツ推進計画にかかる関係課の取組項目の結果・評価について事務局から説明

【質疑応答】

委員：スポーツを支える人材確保の中で、市として部活動地域移行の方針が決まっていない中、地域移行から地域展開という方向で進んでいると思いますが、現状を知りたい。

事務局：学校教育課が主に進めていて、現在、柔道を行っている。次年度に向けて他のスポーツにも広げていく調整を図っている。それとは別に、人材の確保も必要になる。愛知県が行っている人材バンクを活用しながら、スポーツ課としても地域の皆さんに協力を得る必要がある。あま市独自の人材バンクも検討が必要。地域展開のあま市としては、令和10年4月より、学校が希望

する部活においては、土日は完全に地域展開を予定している。

委員：土日は学校の部活動が存続する中、地域サークル活動との二本立てという方向性は。

事務局：可能なものがあれば取り入れていく。学校教育課のコーディネーターが進めている。

(4) 令和7年度スポーツ推進計画にかかる関係課の取組項目について事務局から説明

【質疑応答】

委員：スポーツ人口を増加させるため、「既存施設の有効活動を図る」について、令和7年度はどのように進めていくのか。

事務局：七宝総合体育館は令和18年に解体予定、甚目寺総合体育館は令和23年度に解体予定であり、両館とも30年以上が経過し様々な故障や不具合があり、全ての箇所の修繕が不可能な状況です。令和7年度は、予算の範疇で修繕箇所に優先順位つけて進めている。

委員：スポーツ施設の利便性の向上や有効活用において、利用者が短時間での利用観点の議論はないか。

事務局：議論はある。利用料を適正な価格に設定する。また、条例規則の見直しが必要である。各施設の利用料については、企画政策課がとりまとめをおこなっている。

委員：施設には限りがあるので、より多くの方に利用していただこう条例等を改正して欲しい。

事務局：利用枠、時間枠の細分化、個人利用ができない部分、空調利用について、市民の方が使いやすい施設にできるよう検討する。

(5) 意見交換

【資料5】スポーツに気軽に取り組む機会の提供について事務局から説明

【質疑応答】

会長：名古屋市は各区にスポーツセンターがあり、体育館、柔道場、剣道場、プール等があり、トレーニング室には最新機器が導入されている。団体及び個人利用ができる。あま市にも設備が整った施設が欲しい。

事務局：スポーツ課としては、良いスポーツ振興をしていきたいと考えている。まずは、既存の施設等の有効活用や統合していきたい。

会長：甚目寺と七宝を合わせた複合施設の建設、色々なアイデア出しながらスポーツを推進していく必要がある。

委員：今年度、あまスポーツクラブでは、「誰でもできるみんなの

スポーツ教室」として、モルック、ラダーゲッター、ボッチャ、フライングディスク等を実施し高齢者の参加が多かった。モルックを普及させる為、教室やイベントを行っている。昨年は、市役所東の砂場広場で行い盛況だった。現在、ゲートボール場がほとんど使っていないので、モルックができる施設整備を要望する。

事務局：ゲートボール場の姿を変えると条例上問題が出る。できる範囲で考えていきたい。

会 長：商工会では、市民が楽しく参加できるイベントを行っていますが、どのような努力をしていますか。今後、スポーツに関するイベントを企画する予定や意見はありますか。

委 員：商工会には青年部があり、毎年、若い子たちが一生懸命色々なことを企画し取り組んでいる。今、新部会を作る取組中で、再来年ぐらいからスポーツを絡めて、大きなイベントを行いたい。商工会だけでは、こぢんまりするので、色々なスポーツ協会とコラボして、一緒に大きなイベントを行いたい。あま市で、あまリンピック、あまパラリンピックを開催したらどうか。甚目寺に、すごく頑張っているBMXのオリンピック候補がいて、支援したらどうか。来年のアジアパラリンピックのために、中村区の競輪場の東側部分に、国際大会もできるBMX場ができる。新しく作るのは大変なので市町と共同して利用したらどうか。

事務局：他団体とコラボレーションすることは、考えたことがなかったが可能性も増えると思う。

会 長：社会福祉協議会では子供会のスポーツ大会を行っていますが、最近、子供会も、子供が減少している中、スポーツ大会に興味を持ってもらえるような努力や取り組みなどアイデアはありますか。

委 員：あま市子供会連絡協議会の事業として、子供会スポーツ大会を開催し、競技は長縄8の字飛びを行っている。関心を持たせる努力として、「社協だより」「まるっとあま」「あま市社会福祉協議会のホームページ」で、大会の様子や結果を掲載している。今年度5月から取り組んでいるインスタグラムなどSNSで効果があるので、発信力を高め、関心を持ってもらえるように努力する。

会 長：全国のレクリエーション大会で、本市で、体験広場が行われるという事で、あま市レクリエーション指導者クラブは、どのように関わっていますか。

委 員：毎年5月に、「遊びフェスタ」を20年近く開催している。今回レクリエーション大会に合わせて、5月ではなく、11

月に行います。企画から運営まで全部自分たちのクラブ員で賄っていて、人が足りない場合は、学生や市シルバーにボランティアを頼んでいる。親子で200人から300人くらいの方が参加している。今年は全国大会という事で、いつも以上の方が集まることを期待している。案内を色々な施設や小学校に全校配布していただく予定。

会 長：ママぷらすでは、お母さん同士の交流の場とか、親子とのふれあいの場を通じて様々な活動を積極的に事業展開されていますが、子どもたち、親、親子が事業内容に関心を持ち気軽に参加できるような努力とかアイデアはありますか。

委 員：私たちが団体を立ち上げた頃は、お母さんは昼間、子どもを見るのが普通だった。現在は働くお母さんが増え、早くから保育園にお子さんを預けているので、一緒に参加できる期間が短くなっている。私たちは平日の昼間をメインに活動していたのですが、仕事を始めてからもなるべく継続的に参加しやすいように、土曜日開催などして工夫している。10年前は、自分たちも子育て中でしたが、今は子どもも成長し、今の子育て事情がわからないので、若いスタッフ、現役の子育て世代のスタッフに来てもらい任せている。どんな事を今のお母さんがして欲しいか工夫してもらって、若いお母さんたちをロコミで呼び込んでいる。

会 長：スポーツ少年団では、様々なスポーツを体験して少年団の親睦と交流を図るとともに、少年団に加入促進を図る交流会を開催していますが、何人の参加があり、どのスポーツが人気がありますか。

委 員：毎年1月の第4土曜日、七宝総合体育館で開催しています。参加人数は300人くらいで、サッカー、野球、バスケットが人気があります。しかし、少子化により単独でチームが作れなくて複数の団体により一つのチームを作るという状態である。交流会で様々なスポーツを経験してもらっても親の都合や学習塾でダメだとか、練習日が合わない等の理由により少年団に加入できない子が多い。

会 長：あまスポーツクラブの主催の人気のある講座や教室の参加状況等をお願いします。

委 員：今年は12講座を開催。女性や高齢者には昼間の時間帯が人気があり種目はヨガです。子供や親子は、バスケット、バドミントンが人気で欠員待ちという状況です。エアコン等の問題により、講座の本数を増やすことは難しい。事業は、リスクボール、ドッジボール、モルックなど、展開している。土日に事業をすると各競技団体と被り集客が困難。

会 長：ほっとネット・みわでは、様々なイベントを実施されていますが、気軽にイベントに参加していただくために、どのような取り組みをされていますか。

委 員：市民活動センターは、多くのジャンルの市民活動団体が登録しています。団体のPRの場として、あま市民活動祭があり、社会福祉協議会ボランティアフェスティバルがありボランティアセンターと市民活動センターは同じ分野なので協同し、「あまのわ」になった。市民活動祭は、（地味で）集客が難しかったので、いろんな強みを持った団体とコラボレーションすることによって、イベントが賑やかになる。もう一つの工夫は、ゲーム性のあるクイズラリーや抽選会を取り入れた。広報発信は、いろんな角度からしていくことが必要。昨年度の様子を動画撮影し、チラシに動画のQRコードを掲載したり、庁舎のエントランスホールで毎月1回出張市民活動センターの折に放映し、今まで関心がなかった層にも声かけしている。モルックやディスクゴルフなどのスポーツは、動画で撮って紹介するとわかりやすい。「気軽」というキーワードが重要で、コロナ渦の時に、体を動かす機会なかった為、オンラインで、ストレッチやヨガなどで体を動かしていた。

委 員：スポーツを気軽に取り組む機会を増やすということで、放課後子供教室などでモルックなどのスポーツ教室をおこなってみてはどうか。

事務局：スポーツ課から離れる部分もあるので、生涯学習課と情報共有させていただきたいと思う。

会 長：意見交換テーマ「スポーツに気軽に取り組む機会の提供について」多くの意見、ありがとうございます。事務局と私で、提言等の内容につきまして方向性をまとめ、皆さんに提示の予定。

委員一同：了承。

会 長：賛同を得る。次回の会議において整理したものを報告予定。
本日の議題は、全て終了。

5 その他

事務局：次回の令和7年度第2回あま市スポーツ推進連絡会議は、令和8年2月頃を予定。日程が決まり次第案内。

会 長：以上を持ちまして、本日の連絡会議は終了。